

天正紀

七



一一一

天正記才七卷



前関白秀吉公御けん地らや
らやいせん國津をくわん人
取つる
一 肥前國八こや在件北志の

廿二万又千二百又石

四十四万八千九百又石

廿四万二千百又石

十四万五千又百十石

三十万又千六百七十石

一十万石

一十万石

一十万石

山渡

大和

河内

和泉

播磨國

一十万石

一十万石

二十六万七千五百石

伊勢

一万七千八百九十石

志波

五十七万七千七百三十七石

尾張

坊九万七千七百一十石

三河

坊五万五千六百一十石

美濃

十石

下野

六万九千八百三十二石

奥羽

坊二万七千六百一十六石

出羽

十九万四千二百四石

上総

六十六万七千七百一石

下総

四万五千四百一石

信濃

二十七万八千八百九十石

上野

三十九万二千二百一十石

美濃

三十三万石

奥羽

東上野

七十七万五千三百九十石

出羽

又十四万石

信濃

三万八千石

上野

四十九万八千四百一十七石

奥羽

三十九万六千三百八十石

出羽

三十七万四千八十石

信濃

百六十七万二千四百六石

上野

三十一万八千九百一石

奥羽

東上野

八万又子石

四十九万子六百十石

三十万又子又子又百七十石

廿一万石

三十八万三百石

廿九万七百七十石

一万七千四百十石

とんりんたう

廿六万三千八百八十七石

十二万三千石

十一万四千二百二十又石

八万八千五百石

わうさ

越前

加賀

能登

越中

石川

佐渡

丹波

丹波

丹波

丹波

丹波

とんりんたう

公家

石見

物志

とんりんたう

越前

佐前

佐中

ひんこ

わうさ

とんりんたう

十万九千四百十七石
十八万六千六百八十石
十一万七千七百七十石
四万九千八百八十石

とんりんたう

三十万又子石

十八万六千十七石

廿二万子七百六十二石

十七万六千九百廿八石

十八万六千百八十石

十九万四千百又十石

十六万七千八百廿石

十三万六千六百六十石

十四万三千八百八十石

六万二千四百四十石

十八万三千八百石

十二万六千二百石

三十三万七千二百石

九万八千石

西海乃

廿六万五千七百八十石

廿七万五千石

三十万九千八百三十一石

長門

紀伊

阿波

さぬき

ひよ

土佐

後前

後前

後前

肥前

三十万五千二百石

十八万石

四十一万八千三百八十石

十二万八千七百石

十七万五千七百石

二十万三千八百八十石

肥後

豊前

豊後

日向

大分

さくら

ひよ

あま

子二百人
 三子人
 二子人
 又子人
 子又百人
 三子人
 八子人
 一万人
 一万五子人

りやうせん國語を發八人教行りり
 肥前此國れこや在研乃とゆ

我茲大納言取
 大如大納言取
 加賀乃さいゆ取
 りれく津中將取
 ゆふきのさゆ取
 前尾張守法もらやうせん
 越後のさいゆ取
 會川のせうと取
 ひこられ侍取
 伊達侍取

二十子人
 十子人
 十二子人
 十一子人
 十八子人
 二十子人

二十子人
 十子人
 十二子人
 十一子人
 十八子人
 二十子人

千人

二千人

八百人

八百人

百又十人

子人

子又百人

六子人

二子人

子三百人

又百人

公羽侍従

金山侍従

まろの侍従

八幡山京極侍従

河波の侍従

羽柴河内侍従

ちりね侍従

水のちやう乃侍従

同令中義地守

村上とらふ乃侍

みそ口よりこれ守

本下家内少輔

有野志もはま守

若木記保守

宇都文海三郎

林田春良

川うさ乃右京守

南都大膳大夫

本多保勢

れすれ太郎

さすの源又又子

くろね河内

石川玄蕃守

目付の職守

三百人

五百人

三百人

又百人

百又十人

又十人

百人

百二十人

三百人

子人

千人

二百人
子人

合七万三千二百廿人

此のあそびなり

六百又十人

八百人

百七十人

三百人

三百又十人

四百人

四百人

又百人

水原義澄也
伊波長門守

くひ田左と

金よりひこの也

しらや大膳大史

戸田茂隆守

奥山佐俊也

池田海平也

小島信澄也

津田長門也

千人

二百又十人

二百人

子人

四百七十人

二百人

二百人

三百人

合ふ子七百二十人

造りて川内うと角

千石忠らでんの也

本下ふまの尉

うと田左太麻

山さね丸も助

いざしひやうこ

市橋卜鑑也

赤松上堅也

羽柴志のふと

大浦忠八

津友藤吉

二百又十人

二百又十人

百七十八人

百三十人

百又十人

百人

二百又十人

合千七百又十人

河馬廻志の

四千三百人

三千又百人

又百人

河馬廻志の

小しやう流

野村肥後くま

本下与志の尉

船越みち米門

交本後厄米門

橋本保繁守

終本海三席

生駒源次

河馬廻志の

六町一り

同

同

む海町との

八百人

子人

七百又十人

子二百人

八百又十人

子八百人

合一万四千九百人

河馬廻志の

河馬廻志の

本下与志の

河馬廻志の

河馬廻志の

河馬廻志の

河馬廻志の

河馬廻志の

河馬廻志の

河馬廻志の

河馬廻志の

二百人
百七十人
百三十人
百人
百人
二百人
八十人
百廿人
百又十人
百人
二百人
百六十人

前田権次
中一何式ア
生駒修理
同りん堂
みう龜むかい
川ちりいせんのお
池田孫右衛門
大橋一良の
本下左京のすけ
矢島登信守
わりの後志妻
てしつし志ま

二百人
又百人
二百人
二百七十人
百人
七十人
二百又十人
百又十人
二百人
百人
二百人

ち西後坂さ
同次良すけ
福原右馬助
竹中一乃んこち
長谷川左兵衛尉
松尾右京代
加藤右兵衛尉
成り人志ま乃り
同内膳正
る西友兵衛尉
もつらつし佐さ
同し西友太席

合ふ千三百人

うぢりせん國ゆきこり此は世い

小より橋津守

川し海井侍

松浦の侍

さるさゆりの大吏

大村新八郎

又浦りりさるり

合一万八千七百人

坂友主計頭

石巻志まか守

りり交用お彌

七千人

又千人

三千人

二千人

千人

七百人

二千人

一万人

一万二千人

八百人

已上二万二千八百人

黒田いのり

羽柴登信侍

以上一万千人

羽柴さるりま侍

さるりいり守

高橋九郎

わさるりり三郎

伴藤民甲

志まら又七郎

福清左衛門大吏

又千人

六千人

一万人

一万人

一万人

千人

千人

千人

同

合一万回千人

又千人

四千人
七千二百人
三百人
八百人

合二万七千七百七人

戸田みんぶの少輔
うらたけの少輔
羽柴玄佐の侍従
生駒雅樂

三万人
一万人
千八百人
二千八百人
八百人
九百人

合四万八千七百七人

羽柴安藝守の少輔
同小早川将後
同くろくろの侍従
国柳河比侍従
高橋元忠の侍従
うらたけの少輔

らやうきん國部村もては勝の三河

一万人
千人
二千人
千二百人
二千人
千人

以上一万七千二百人

佐前代三河
うらたけの少輔
石田治部が備
大谷さやうの少輔
前聖の少輔
加茂重信の少輔

三千人
千人
千八百人
八百五十人

あさの元京大吏
まきと甲乃せう
南条元来門尉
木下佐中

百二十人

二百人

三百人

二百八十人

三百人

千人

大田小原又

くらすり阿波

新こやう新三麻

早川三ゆめ乃吉

毛刺六甲か猫

龜井茂茂り

合二万八千八百人

らやうせん國おまの口

九鬼天正んれう

坂堂佐俊さ

月見寺の中ん志

坂友左る双

七百人又十人

千八百人

二千八

千八百人

七百人

二百又十人

千人

千人

八百五十人

六百又十人

くらし海え

まけの平右忠の

くら山取太

同小傳次

堀内あゝのり

松美らん云ら

已上九千二百人

な、やを件れさい 合十万二千三百人

らやうせん必へ波海乃さい合廿万二千二百人

以上云十万三千八百人

水ろくろく乃瀆らるる肥前國れこやと初を六千里

たりうさう取る一英國の道ありさいの多少と

らつて目録をいそがしむらんりふ事れん

本朝仁正十代 祿元六年のへたり三

今上宣帝

又祿元年 前橋政園白秀

六百といせいのりつこころやうきん國みよいて

八百五九一子三百三十三はよつた

も入

天正記を才七終

二百八十八

十百六

110X
323
9